

「UD21 にいがた」佐渡研修 行程レポート

2012年10月19日・20日実施

10月19日 11:30 佐渡汽船新潟港よりJフォイルにて両津港へ
両津港で名物「ぶりカツ丼」でまずは腹ごしらえ。

レンタカーと本間組様よりお借りした車に分乗し、
一路 NISACO さんの佐渡工場へ直行。



小川さんより工場の説明、渡辺さんより建屋の説明を受け、実際に工場の中へ潜入！



工場内は照明が無くても明るく、衛生的でエコな環境でした。
世界初の木造トラス構造のボトリング工場も錆びずに環境にも優しい建物です。

続いては、裏山の上に建てられた「深塩工場」に足を運びました。



いよいよ海岸沿いに建設された海洋深層水の取水ピットへ向かいます。
取水口は水深332mの深海にあります。



取水場からは、普段見慣れた弥彦山と角田山の位置関係が反対に見え、新鮮な感動です。
続いては、隣接する分水施設を見学。
ここでは原水から逆浸透膜や電気透析で淡水や脱塩水を製造しています。



また、更に隣接する水産施設では、アワビの種苗生産や南蛮海老とずわい蟹の生け簀も見学しました。



このあと、北雪酒造さんに立ち寄り、定例会会場の宿へ向かいました。

定例会では、UD21 参加者と SSD 研究会からの参加者による自己紹介と、間近にせまった県知事選挙での UD 調査の概要報告があり、その後、豪華な佐渡のご馳走で懇親会となりました。



翌日は、小木港から宿根木を回り、太鼓体験施設にも立ち寄りました。



続いて重要文化財のある「小比叡山」を見学し、いよいよ「アリギリス村」へ。



2 日間の研修も、いよいよ大詰め。

「朱鷺保護センター」と「野生復帰ステーション」を見学し、「清水寺」の舞台も見学。



非常に中身の濃い佐渡研修となりました。

特に NISACO 小川さんには研修会幹事を務めて頂き、大変お世話になりました。